

「平成 31 年度 国際園芸博覧会の招致・広報・機運醸成等業務委託」
受託候補者特定に係る実施要領

(趣旨)

第 1 条 「平成 31 年度 国際園芸博覧会の招致・広報・機運醸成等業務委託」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「実施要綱」という。）に定めるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

(実施の公表)

第 2 条 実施の公表にあたっては、募集要項、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成書式及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

(提案書の内容)

第 3 条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは、別に定める。

- (1) 業務実績
- (2) 当該業務の実施方針
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) その他当該業務に必要な事項

(評価)

第 4 条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 本業務に生かすことのできる過去の実績があるか等
- (2) 本市や対象地域の現状及び課題を把握しているか等
- (3) 委託の趣旨・目的の十分な理解に基づいた具体性のある提案であるか等
- (4) 多面的な発想・視点を持った提案であるか等
- (5) 取組意欲の感じられる提案であるか等

2 プロポーザルの評価にあたっては、提案者にヒアリングを行うものとする。

3 提案書の内容を基に、当該業務に最も適した者を特定する。

4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会の設置)

第 5 条 プロポーザルの評価にあたっては、平成 31 年度 国際園芸博覧会の招致・広報・機運醸成等業務委託プロポーザル評価委員会（以下、「評価委員会」という。）を設置し、次の

各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
- (2) 評価の集計及び報告

2 評価委員会には委員長及び委員を置き、次のとおりとする。

委員長 政策局総務部長

委員 政策局総務課長、文化観光局企画課横浜プロモーション担当課長、
市民局広報課長、国際局国際連携課担当課長

3 評価委員会は、委員の定足数の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。

4 委員長は、評価結果を政策局第1入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会は、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附則

この要領は、平成31年2月1日から施行する。